

飼育員がバックヤードで親代わりに育てています 絶滅危惧種の海鳥・エトピリカの赤ちゃんが誕生 ～飼育員目線でご覧いただける特別体験イベントも開催～

海遊館（大阪市港区）では、2025年8月25日（月）に、環境省レッドリストにて絶滅危惧IA類に分類されている海鳥の仲間・エトピリカの赤ちゃん1羽がバックヤードで誕生しました。誕生直後から飼育員が親鳥に代わってエサやりや体重測定を行うなどして大切に育てています。誕生から約3週間を経過し、順調に育っていますのでお知らせいたします。



8月25日に誕生したエトピリカの赤ちゃん



誕生直後から飼育員が親代わりに育てています。

海遊館では、2018年6月29日から「アリューシャン列島」水槽にてエトピリカを展示し、目の上にある鮮やかな黄白色の飾羽や、羽ばたくように水中に潜る姿をご覧いただく生態展示を行なってきました。

同水槽のリフレッシュ工事のため、2025年4月9日からはバックヤードで飼育していたところ、7月18日に産卵（1個）を確認しました。貴重な卵が割れたり、濡れてしまうことがないよう、卵をふ卵器に収容して人工ふ化と人工保育にチャレンジすることになりました。8月20日には卵を内側から割る嘴打ちが始まり、8月25日に無事に誕生、直後から飼育員が親代わりになって大切に育てており、9月18日時点で体重約290gと誕生直後の6倍近くにまで成長し、スクスクと育っています。

※「アリューシャン列島」水槽の再オープンや赤ちゃんのデビューについては、決まり次第ホームページなどでお知らせします。

【「飼育員目線の特別体験～エトピリカ編～」を開催】

エトピリカの誕生を記念して、エトピリカの生態や飼育員の仕事を、解説や体験を通してお伝えする“飼育員目線の特別体験～エトピリカ編～”を、1日1組限定で開催します。長靴に履き替えて、飼育員とともに特別にエトピリカが暮らすバックヤードに立ち入ります。ガラス越しではなく生きものと同じ空間に入り、飼育員と同じ目線でお過ごしいただける特別な体験です。別紙にて詳細をお知らせします。

本件に関する広報連絡先

取材や素材提供をご希望の場合は下記までご連絡ください。

海遊館広報チーム 06-6576-5529

別紙

【「飼育員目線の特別体験～エトピリカ編～」開催要項】

《開催日時》 9月20日(土)～10月10日(金) 各日 15:00～16:30

《対象》 小学生以上

※小学生は保護者(16歳以上)同伴でご参加ください。

※保護者(16歳以上)1名につき小学生2名までご参加いただけます。

《定員》 各日1組限定(5名までご参加いただけます)

《料金》 基本料金(2名まで) 20,000円(消費税込み)

追加料金(3～5名) 1名追加につき 11,000円(消費税込み)

※別途、海遊館の入館料が必要です。

《主な内容》 海遊館のコンセプトご紹介

飼育員によるエトピリカについての解説

赤ちゃんの体重測定補助(記録係)

赤ちゃんが暮らす場所の掃除見学、給餌(えさやり)見学

バックヤードのエトピリカ(成鳥)の観察

《応募方法》 9月18日(木)17:00より海遊館ホームページにて募集開始。

※先着順。なお、当日空きがあれば、海遊館エントランスビル2階団体受付にてお申込みいただけます。

※生きものの状態により予告なく中止または終了する場合があります。

【エトピリカの赤ちゃんについて】

■産卵日 : 2025年7月18日

■孵化日 : 2025年8月25日

■性別 : 不明

■体重 : 誕生直後 54g

9月18日時点 約290g

■親鳥 : 父「おこっぺ」

母「しゃり」



誕生直後のエトピリカの雛(8/27撮影)

【エトピリカについて】

英名 : Tufted puffin

学名 : *Fratercula cirrhata*

北太平洋の亜寒帯域に広く生息する海鳥で、現在、日本国内では北海道の一部地域でのみ繁殖が確認されているものの、その数は少なく、環境省レッドリストにて絶滅危惧 IA類に分類されている。



(以上)